

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| 巻頭言：図書館の役割 ～コロナ禍の中で～               | 1 |
| 令和3年度 神奈川県図書館協会総会開催報告              | 2 |
| 表彰受賞者                              | 2 |
| 事業計画・予算                            | 3 |
| 役員名簿・委員会名簿                         | 4 |
| 令和3年度人材育成事業                        | 5 |
| 連載：わたしのイチオシ 藤沢市南市民図書館 ～新たな図書館の可能性～ | 6 |

## 図書館の役割 ～コロナ禍の中で～

神奈川県図書館協会長（神奈川県立図書館長）

南雲 正二

本年4月より神奈川県図書館協会長に就任しました神奈川県立図書館長の南雲です。どうぞよろしくお願いたします。

2019年末から始まった新型コロナウイルス感染症の流行による世界的危機的状況は未だ収束を見せず、私たちの社会生活や行動様式に大きな影響を及ぼしたままです。

こうした中県立の図書館においては、初めての緊急事態宣言下では一定期間休館を余儀なくされましたが、再宣言下では多くの県民利用施設が原則休館とされる中で、感染防止対策を徹底したうえで「開館する」というスタンスでやってまいりました。

これは、図書館の様々な提供機能のうち、県民の皆様の社会生活や行動が制限される中で、特に居場所としての重要性を再確認した上での判断でした。入場人数の制約もあり、来館者数によるコロナ禍前との比較はできませんが、しかし、この間にご来館頂いた方々には、改めて図書館の新た

な魅力や果たしている役割を感じていただけたのではないかと考えています。

本年4月1日現在、神奈川県図書館協会の会員は施設会員135館、個人会員14名で構成されており、1928（昭和3）年の創設以来、図書館の発展と利用者サービスの向上のため、様々な活動を行ってきました。

長い歴史の中で、図書館をめぐる時代の節目は大小様々あり、直近ではデジタルネットワークに対応するための著作権法（図書館関係の権利制限規定）の見直しなどがありますが、コロナ禍における今の社会状況はまさにその一つと言えるのではないのでしょうか。

協会の活動を通じて、これまでと違う角度からの県内図書館の新たな魅力の再発信や、図書館が担う重要な役割を再認識していただく取組みを進めていきたいと考えていますので、会員の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いたします。

## 令和3年度神奈川県図書館協会総会開催報告

令和3年度神奈川県図書館協会総会は、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、4月21日(水)～4月28日(水)に書面にて開催しました。

書面総会では、4点の審議と3点の報告を行いました。審議事項である、役員を選出について、令和2年度事業実施結果及び決算について、令和3年度事業計画(案)及び予算(案)について、会則第5条、第9条、第11条、第17条等改正については、原案通り承認されました。報告事項は、令和3、4年度委員会委員長・委員の選出について、令和2年度会員の入退会状況報告、令和3年度人材育成事業についてでした。これに対し、反対意見等は特にございませんでした。

また、昨年同様、例年総会と同時開催している表彰式も中止とし、表彰状と副賞をお送りすることとなりました。会員施設に20年以上勤務した永年勤続職員7名、神奈川県図書館協会及び県内図書館事業に尽力し、功績のあった功労者3団体を表彰いたしました。

### 令和3年度 表彰受賞者

#### ★永年勤続職員 7名

伊大知 綾子(神奈川県立)、松本 清香(神奈川県立)、安部 史織(横浜市中心)、吉村 知晃(川崎市立幸)、田中 茂一(川崎市立麻生)、友部 仁子(厚木市立中央)、池田 和広(鶴見大学)

#### ★功労者 3団体 ( )内は推薦施設名

○鶴見歴史の会 (横浜市鶴見図書館)

郷土史の研究と地域文化に寄与することを目的に設立された市民団体。40年以上鶴見区内で「郷土史展」「歴史講座」の開催、各種書籍発行、古文書研究などの事業を主体的・自立的に行っています。平成3年には、当館との共著により書籍『鶴見の

坂道』を刊行しました。鶴見区のホームページ内にも「鶴見区の歴史」を執筆するなど、郷土史に関する情報の発信を活発に行っています。

○布えほんグループコスモス(茅ヶ崎市立図書館)  
布えほんグループコスモスは、障がい児童並びに児童用に布絵本と遊具作りの活動を行っている団体です。長年、市立図書館に布えほんをご寄贈いただいております。また、ご寄贈いただいた布えほんの修理を毎年行っているほか、図書館において、手作り布えほん講習会の講師としても長年ご協力いただいております。

○おはなしたまてばこ(中井町立井ノ口公民館)  
公民館設立の昭和63年より、地域の子どもを対象に毎月1回図書室で「おはなし会」を開催しています。絵本の読み聞かせや紙芝居の実演、手遊びなどを行っています。毎年行われる井ノ口公民館まつりでも読み聞かせのイベント開催や運営への協力など、公民館の活性化にもご協力いただいております。

## 令和3年度 事業計画

### 1 協会の運営・連絡

- (1) 総会の開催
- (2) 理事会の開催
- (3) 企画委員会の開催

### 2 調査研究事業

○図書館及び図書館資料に関して、次の調査研究を行う。

- (1) 県内図書館の地域資料等の調査研究（地域資料委員会）
- (2) 大学図書館加盟館間の情報交換と調査研究（大学図書館協力委員会）

### 3 研修事業 読書推進事業

○館員の資質の向上を図るための研修計画の企画

- (1) 研修委員会の開催

○研修活動の運営

- (1) 見学（国会図書館等、公共図書館、大学図書館）
- (2) 講座（大学図書館研修、窓口サービス、レファレンスサービス、図書館利用の促進等）
- (3) 児童担当者向け（児童サービス 等）
- (4) 図書館総合展フォーラム 2021年11月9日 - 11月11日 予定
- (5) その他

○読書推進活動

- (1) 子ども読書活動推進フォーラムを県立図書館と共催する。

### 4 広報活動事業

○図書館活動についてPRを行う。

- (1) 広報委員会の開催
- (2) 「神奈川県図書館協会報」第275号～第278号を発行する。
- (3) 協会ホームページのメンテナンス作業を実施する。
- (4) その他協会活動についてPRを行う。

○「神奈川の図書館2021」を刊行する。

### 5 表彰事業 共催・後援事業

○永年勤続職員及び県内図書館の功労者に対して表彰を行う。

※ 総会開催と同時に実施。

○県内図書館事業の振興を図る上で特に有意義な事業の奨励（共催・後援）

### 6 人材育成事業

○特定の研修への参加助成金を交付する。

○研修結果を会員へ周知する。

### 7 加盟館の相互協力事業

○共通閲覧証による相互利用（加盟大学図書館間）

### 8 その他必要な事項

○大人の読書活動推進事業について検討を行う。

## 令和3年度 予算

<一般会計>

収入 (円)

|        |          |           |
|--------|----------|-----------|
| 分担金等収入 | 各館分担金    | 1,515,000 |
|        | 個人会員会費   | 42,000    |
|        | 日図協団体活動費 | 123,264   |
| 繰越金    | 前年度繰越金   | 1,351,862 |
| 雑収入    | 雑収入      | 6         |
| 合計     |          | 3,032,132 |

支出 (円)

|              |         |           |
|--------------|---------|-----------|
| 事務費          | 事務局費    | 392,000   |
| 事業費          |         |           |
| 会議費          | 会議費     | 51,000    |
| 調査研究費        | 調査研究費   | 73,400    |
|              | 館員等研究費  | 528,000   |
| 広報活動費        | 会報等発行費  | 954,800   |
|              | 図書館総合展費 | 299,000   |
| 表彰費          | 表彰費     | 91,000    |
| 記念事業等特別会計繰出金 |         | 0         |
| 予備費          |         | 642,932   |
| 合計           |         | 3,032,132 |

---

**令和3年度 役員名簿**  
(令和3年4月1日)

---

会長 南雲 正二 (県立)  
副会長 下澤 明久 (横浜市中央)  
辻中 豊 (東海大学付属)  
理事 若杉 恵子 (県立)  
日比野 典明 (県立川崎)  
水野 純子 (横浜市中央)  
小島 久和 (川崎市立中原)  
朴澤 徹範 (鎌倉市中央)  
塚本 志穂 (逗子市立)  
飯田 京子 (座間市立)  
稲垣 和雄 (綾瀬市立)  
市川 雅之 (藤沢市総合市民)  
佐藤 聡 (大磯町立)  
佐次 安一 (小田原市立中央)  
百瀬 幸子 (関東学院大学)  
森岡 緑 (横浜国立大学)  
安達 和志 (神奈川大学)  
山口 由紀子 (相模女子大学)  
石川 義弘 (横浜市立大学)  
今部 一良 (公文書館)  
監事 平井 和友 (議会図書室)  
加治 宏 (県政情報センター)  
事務局長 鈴木 めぐみ (県立)

---

**令和3年度 委員会名簿**  
(◎は委員長)

---

<企画委員会>

◎水野 純子 (横浜市中央)  
小松 晶子 (県立)  
山内 正伸 (横浜市中央)  
朴澤 徹範 (鎌倉市中央)  
市川 雅之 (藤沢市総合市民)  
佐次 安一 (小田原市立中央)  
逸見 義顕 (関東学院大学)  
平井 久美子 (東海大学付属)  
小泉 正晴 (公文書館)

<広報委員会>

◎市川 雅之 (藤沢市総合市民)

伊津美 泉 (県立)  
石井 里枝 (県立川崎)  
野原 淳 (横浜市中央)  
山本 秀行 (川崎市立高津)  
澁谷 美帆 (相模原市立相模大野)  
安藤 弘和 (藤沢市総合市民)  
森岡 緑 (横浜国立大学)  
中村 真治 (神奈川大学)  
青山 香澄 (県立保健福祉大学実践教育センター)

<大学図書館協力委員会>

◎百瀬 幸子 (関東学院大学)  
村田 輝 (横浜国立大学)  
河西 徹 (横浜市立大学)  
堀江 美由紀 (神奈川大学)  
堀池 奈津子 (関東学院大学)  
古越 奈央 (相模女子大学)  
紅谷 龍司 (東海大学付属)

<地域資料委員会>

◎佐次 安一 (小田原市立中央)  
飯田 朋子 (県立)  
大家 翔平 (横浜市中央)  
植原 由佳 (川崎市立中原)  
深水 賢一 (横須賀市立中央)  
高橋 哲 (海老名市立中央)  
瀧 有飛 (横浜市立大学)  
宇佐美 恒城 (近代文学館)

<研修委員会>

◎朴澤 徹範 (鎌倉市中央)  
加藤 ひかり (県立)  
荒谷 宏美 (県立川崎)  
辻 祥弘 (横浜市中央)  
盛岡 絵理 (川崎市立宮前)  
渡邊 康司 (相模原市立)  
腰越 未樹 (平塚市中央)  
西部 香織 (鎌倉市玉縄)  
國分 雪 (茅ヶ崎市立)  
山口 友理子 (大和市立)  
岩田 孝 (伊勢原市立)  
峯 絵里子 (湯河原町立)  
三好 由美 (相模女子大学)  
牧 幸男 (鶴見大学)  
宇佐美 恒城 (近代文学館)

# 令和3年度 人材育成事業

神奈川県図書館協会では、2018年に迎えた創立90周年を記念し人材育成事業を行っています。

この事業では、外部団体の研修へ参加する機会を増やし、会員の資質向上を図り、神奈川県全体の図書館司書の力量を高めることを目的に、会員のみなさまを対象に、2019年度～2023年度までの5年間、あらかじめ定められた研修に参加する際の経費を全額または一部助成します。

## 令和3年度助成対象事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から事業が中止となった場合、対象から除外します。

|                             |              |      |                    |
|-----------------------------|--------------|------|--------------------|
| ① 専門図書館協議会全国研究集会            | オンライン開催      | 募集終了 | 6月8日(火)～6月9日(水)    |
| ② 全国図書館大会(山梨)               | オンライン開催      |      | 11月11日(木)～12日(金)   |
| ③ 関東・甲信越静地区                 | 図書館地区別研修(新潟) |      | 11月30日(火)～12月3日(金) |
| ④ 全国公共図書館研究集会<サービス、総合・経営部門> | (福岡)         |      | 11月22日(月)          |
| ⑤ 全国公共図書館研究集会<児童青少年部門>      | (岩手)         |      | 11月25日(木)～26日(金)   |

※ ③以外は全日程参加(情報交換会等は除く)③は概ね3日以上参加を原則とする。

(研修日程の概ね4/5以上を受講し、研修成果について、研修終了後2週間以内にレポート(1,200字程度)を提出した者に修了証書が授与されるため)

## 4. 募集人数(目安)

|                             |              |      |    |
|-----------------------------|--------------|------|----|
| ① 専門図書館協議会全国研究集会            | オンライン開催      | 募集終了 | 2人 |
| ② 全国図書館大会(山梨)               | オンライン開催      |      | 3人 |
| ③ 関東・甲信越静地区                 | 図書館地区別研修(新潟) |      | 2人 |
| ④ 全国公共図書館研究集会<サービス、総合・経営部門> | (九州・沖縄地区)    |      | 2人 |
| ⑤ 全国公共図書館研究集会<児童青少年部門>      | (岩手)         |      | 2人 |

※ 定員に達しない場合、追加募集する可能性がある。

※ オンライン開催等の場合、人数を増やす可能性がある。

## 助成対象者

神奈川県図書館協会加盟館に勤務する職員であること。ただし、過去に当該助成を受けたことのある職員は除くものとします。

## 対象事業②～⑤ 募集開始時期 未定

※別途、詳細な募集要項を協会ホームページでお知らせします。

多くのみなさまのご応募をお待ちしています!

## 連載 わたしのイチオシ 藤沢市南市民図書館 ～新たな図書館の可能性～

藤沢市は神奈川県中央南部に位置し、相模湾に面し、気候温暖、市の最南端に位置する江の島は湘南の観光スポットとしても有名です。

東京2020オリンピック競技大会においては、セーリング競技の開催地となっております。

藤沢市では「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」をモットーに、4市民図書館・11市民図書室による全域サービスを図書館運営の基本としています。

その4つある図書館の一つ、南市民図書館は前回の東京オリンピック競技大会開催の前年、1963年に中央図書館としてオープンしました。その後、市内北部に藤沢市の図書館の拠点となる総合市民図書館が完成した際には、南市民図書館として再スタートしました。

そして、2019年7月1日に施設の老朽化とバリアフリーへの対応のため、市民ギャラリー及び常設展示室とともに、藤沢駅南口のODAKYU湘南GATE 6階に暫定移設され、この7月で2年が経過しました。



バリアフリーにも配慮された施設で、開館時間も平日夜8時までと、仕事や買い物帰りの方々など多くの方に利用いただいております。

ワンフロアに児童書から一般書、視聴覚資料まですべて揃っており、どなたでも利用しやすい図書館として、また、土地柄「海」に関する資料を多く揃えるなど、地域の特性を活かした蔵書構成となっております。

南市民図書館のイチオシは何といてもJR東海道本線、小田急線江ノ島線、江の島電鉄が経由する藤沢駅に隣接する商業施設内にあるという立地にあります。

窓側にある閲覧席は大変人気があり、席からは藤沢駅周辺が一望できます。



休日には買い物に来られたご家族連れの利用も多く、また併設する市民ギャラリーとともに子どもから大人まで様々な年代を対象とするワークショップ、講演会等を開催するなど、この南市民図書館には新たな図書館の可能性を感じております。そしてここでの経験を活かし、何年か先には、市民会館等との複合化施設として、新たなスタートをきる予定となっております。



現在は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、商業施設や図書館においても、活動自粛を余儀なくされている状況ですが、これらの事態が収束し、ご家族連れや様々な利用者が楽しめるような元の図書館に戻れることを願っております。

(藤沢市総合市民図書館 小泉 謙二)